

第3版 序

本書は、「イラストを多く取り入れ、本文はできる限り平易・簡潔に記載する」というコンセプトで、斬新かつ大胆な「目で見える教科書」として、その初版が1999年4月に刊行された。それ以来約18年が経過し、この度改訂第3版を出版することとなった。この間、記載内容のアップデートや新情報提供のため、2008年2月には改訂第2版を出版している。今回は、その後9年間の新情報や本書の読者層のニーズに沿った増補を含めた改訂である。

本書は、読者が生化学・分子生物学の基礎知識や考え方を容易に理解できるようにイラストを多く取り入れており、これが本書の大きな特徴である。そこで、今回の改訂においても、イラストの一層の充実を図った。読者の理解の手助けになるように、細部も含めてイラストの手直しをするとともに、配色を2色からオールカラーに増やして「目で見える教科書」のイメージを強調した。こうした充実が、読者の理解をより一層促進させることを願っている。

今回の改訂で際立ったもう1つの点は、全体の章立ての変更と新情報を含む大項目および中項目を新たに書き起こしたことである。具体的には、辞書的に引いて使えるよう目次階層を整理し、3部9章構成とした。章を連続番号とすることで、他章を参照しやすくなっている。また、新情報においては大項目として、1章に「G 組織の維持・再生と幹細胞」、9章に「E 薬物代謝」と「G 臓器と関連する血液検査」の3項目を増補した。中項目では、1章Bに「VIII オートファジー」、5章Bに「IV 翻訳後修飾」と同章Cに「VIII エピジェネティックな調節」、6章Dに「VI 遺伝子検査の機器・ツール」、7章に「XV CRISPR/Casによるゲノム編集」、8章Cに「II 血糖値調節のメカニズム」の6項目を追加した。これは、本書の読者層が幅広いことに特段の配慮をしたことの表れである。

本改訂版が、生化学・分子生物学の基礎知識を学習するすべての皆さんの役に立つことを心から願っている。

結びに、これまで多くの大学や専門学校等で教科書あるいはサブテキストとして採用されてきた本書の初版を出版する機会を18年前に与えていただいた長谷川幸代氏に重ねて感謝申し上げるとともに、今回の改訂第3版の出版にあたり、鮮やかなイラストの配色と、終始適切なお助言とご尽力をいただいた羊土社の関係各位、とくに間馬彬大氏と田頭みなみ氏に謝意を表します。

2016年11月

著者を代表して
前野 正夫